

# 仙台西高 同窓会 報

第34号

発行日 令和2年2月28日  
 発行所 宮城県仙台市太白区御堂平5-1  
 電話 244-6151  
 責任者 同窓会事務局  
 印刷所 文印刷株式会社  
 電話 222-0181

## 令和元年

同窓会長 守 敬太



平成から令和に元号が変わりました。グーグルによると今年、国内で検索数が急上昇したキーワードの一位は「令和」ではなく、列島に深い爪痕を残した「台風19号」だったそうです。昨年の会報で新元号では自然災害が少ない、穏やかな世になって欲しいと挨拶したばかりなのに残念です。同窓生の皆様におかれましては、いかがお過ごしのことでしょうか。

さて、昨年から始まりました、同窓会総会に参加

## 同窓生の熱き想いに触れて

校長 後藤 順一



同窓生の皆様には、日ごろから本校の教育活動に御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度は五月から『令和元年度』となり、『令和最初の卒業生』として、このたび第三十五回生が卒業を迎えることになりました。さて、皆様の後輩であります生徒諸君は、今年度も様々な場面で活躍してくれました。県高校総体では陸上競技女子三段跳びで三年生の千葉さんが県高校新記録で優勝し、東北大会・国体と出場しました。さらに、男子走り幅跳びで一年生の渡邊君、女子棒高跳びで二年生の相澤さんが東北大会に出場しました。そして、昨年からの活躍している女子ハンドボールが国体県一次予選で第一位、男子ソフトテニスが県新人大会で第三位となりました。他の運動部も県ベスト8・16に入る活躍を見せております。また、個人の活動にはなりますが、ボーリングで二

者を増やす試みとして当番幹事を、1回生、11回生、21回生、31回生の四年代で担当する企画ですが、11回生、21回生に関しては、連絡をつけられず反省点が残りました。しかし1回生十人以上と31回生は二十人以上も参加頂きましたし、旧職員・現職員も多数参加頂きました。ありがとうございました。今年度は、個人情報保護法で我々は守られている、反面でライン・SNSで連絡が簡単にできてしまう。時代が変わったと申しますが、使い方を間違えると大変な事になってしまふし、善悪の矛盾を感じました。

令和二年二〇二〇は東京オリンピック・パラリンピックの開催され

る年です。老若男女日本人全員が成功を願っている祭典です。この二〇のつのが多い年に、また日本が一番熱くなる年に、2回生・12回生・22回生・32回生が当番幹事の担当になる事は、プレッシャーを与える訳ではありませんが、何かしてくれるのではないかと期待してしまうのは私だけでしょうか。同窓会は会則にもあるように、会員相互の親睦を図るとともに、母校発展に寄与することを目的としています。

私は今年も同窓会活動に邁進していく所存でございます。皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いし、仙台西高の発展と、同窓会会員皆様のご健勝を祈念して、挨拶と代えさせていただきます。

年生の山田さんが二年連続で国体に出場しております。文化部では合唱部が全日本合唱コンクール県大会で、最優秀賞にあたる県知事賞を獲得して東北大会に出場しました。他の文化部も様々な大会や催しに積極的に参加し、活躍しております。ボランティア活動においては、JRCの活動が地域の施設等から大変感謝されております。

ところで、今年度は十一月の開校記念日に、同窓生の講演をいただく年になっておりましたことにより、二回生の岡崎典生氏にご講演をいただきました。岡崎氏はご存じのとおり、現古川学園高等学校女子バレー部監督であります。母校愛に満ちたその話の中で、在校生に対して『夢と勇気と力』を与える力強いエールを感じることができました。『努力の大切さ』と『最高レベルに身を置いたときに見える世界があること』などを話された時の生徒たちの目の輝きは、同窓生への親しみと尊敬の念に溢れていたように見えました。また、今年度の同窓会総会には、当番

幹事制を取り入れたこともあり、一回生・二回生の同窓生の方々に多数出席していただきました。本校創成期の活気溢れる学校生活など、様々な思い出と自分たちが学校の歴史を作ってきたという自負と強い誇りを感じることができました。これから新しい時代の仙台西高校を作り上げようというときに、『温故知新』として私たちを支えてくれるのではないかと感じました。しかしながら、同窓生に対しては大変心苦しいのですが、来年度入学生から定員が四十名減り、三年後には全校生徒が現在よりも百二十名減ることになりました。少子化に伴う施策ではありますが、部活動の状況によっては、歴史のある部を休部あるいは廃部にする可能性が出てまいりました。同窓生にとっては非常に残念なことかと思っておりますが、ご理解いただかなくてはならないことあるかと考えております。

このように変革期にある仙台西高校ではありますが、今後とも同窓生・後輩のためにお力添えをいたいただくようお願いいたします。

## 令和2年度 同窓会総会・懇親会のご案内

○日時 令和2年7月18日(土) 18:00~総会 18:30~懇親会 / ○場所 仙台ガーデンパレス  
 当番幹事(第32回生) 幹事長: 郷家 一真 副幹事長: 佐々木彩乃 学年主任: 磯 比呂志

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
担任	大友 康	山形 一朗	嘉藤 敏之	門田久美子	安住 昭二	遣水 英兒	山田 由美
副担任	猪瀬 文彦	小野寺 淳	古関 正	保原 恒雄	宮田 敏志	鈴木 達雄	浅野 龍彦
幹事	齋藤 日和	郷家 一真	鈴木 健斗	岩瀨 翼	佐藤 昂希	近藤 挑	鈴木 優太
	佐藤 光瑠	大沼 美涼	木村 海月	岩瀨 阿部 片	佐々木彩乃	小島 さやか	磯村 奈々穂

※2・12・22回生も拡大幹事担当となります

\*各回期お誘い合わせの上多数ご参加ください。

# 令和元年度 同窓会総会

令和元年七月二十七日(土)に  
令和元年度同窓会総会並びに懇  
親会を、仙台ガーデンパレスを会  
場に開催いたしました。

守敬太会長と後藤順一校長先生  
のご挨拶の後、議事に移りました。  
例年通りの議題として、平成三十  
年度の事業報告、決算・監査報告、  
令和元年度の事業計画案、予算案  
について承認されました。また、  
役員の一部改選について議決され  
ました。

総会終了後は懇親会となり、当  
番幹事学年の31回生を軸に、また  
今年度から初の試みとして実施し  
た担当学年拡大幹事(今年度は1・  
11・21回生)の参加者を得て、例  
年にならぬ盛り上がりだった本会とな  
りました。開校当時の恩師の先生方  
三名の出席を頂きながら、当番幹  
事担当学年の先生方と共に、各年  
代ごと当時の思い出に浸ることが  
できた有意義な一時となりました。  
来年度は32回生(平成二十九年  
三月卒業)が当番幹事となります。



皆様お  
声がけの  
上、多数  
ご参加頂  
けますよ  
うお願ひ  
いたしま  
す。

## 同窓会の醍醐味とは

一回生 佐藤 恵子(旧姓江田)



「見事難関を突破  
して合格した生徒諸  
君入学おめでとう」  
これが第一回西高入  
学式での大場校長先  
生(当時)の第一声でした。この  
言葉に身が引き締まる思いで部活  
に勉強に友情を育むことに明け暮  
れた三年間。卒業から三十五年、  
私は横浜の地に来て二十七年、夫  
と大学生の娘、息子と四人で暮ら  
し、現在、県立高校の国語科教員  
をしています

さて令和元年の同窓会は1回生  
が担当幹事でもあることから陸上  
部同級生でもある守同窓会会長と  
共に1回生に参加を呼び掛けてき  
ました。特に私個人としては母校  
西高での教育実習を共にした同級  
生や教え子との再会も願って約20  
人と連絡を取り、当日は諸事情で  
参加できなかつた友も多かつたも  
の二次会からた友も多かつたも  
生は十三名が集いました。  
当日は少しでも当時は懐かしん  
でもらえればと私が所有している  
西高関係の資料や写真を持参し回  
覧してもらいました。思い起こせ  
ば、三年時の高校野球県大会準優  
勝の際に地元が大いに沸いた記憶  
はいまでも鮮明です。  
その時の活躍者である田中、佐  
藤両選手も今回参加され当時の裏  
話は大変興味深く聞きました。そ  
の野球部を率いた三井先生や一回  
生とは縁深い小笠原先生もご臨席  
され張りのお声は健在でした。

昨年(二〇〇二年)西高が甲子園  
初出場を果たした際の記録も掲載  
されている全国高校野球百年誌が

朝日新聞社から発刊され早速購入  
し当時の活躍を再確認しました。  
改めて自身の西高愛に驚くばかり  
です。

私自身は陸上部に所属し仲間と  
は今でも交流が続いています。恩  
師である高橋隆昌先生は既に他界  
しましたが私が母を元気づけよう  
と励ましてくださり今でも私の支  
えとなっています。「不断の努力」  
の大切さを常に語っていた恩師の  
言葉の意味を今深く噛みしめ、私  
は教え子にどうそれを伝えるか模  
索の日々です。

師と友に恵まれた私の高校時代  
を振り返る機会となった今回の同  
窓会、同じく当番幹事である31回  
生の挨拶の中で教員を目指してい  
る後輩が多くいることを知り頼も  
しく嬉しく思いました。

オリンピック、パラリンピック  
イヤーの今年、華やいだムードで  
盛り上がりを見せる一方でいまだ  
東日本大震災や他の災害等で苦し  
んでいる人々がいるのも事実です。  
私は年に数回の帰郷の際に災害後  
のボランティアに参加して、どんな  
が、そこで学んだことは、どんな  
に見聞を広めようとも自分の知っ  
ている世界など小さいものだと  
いうことです。だからこそ、同窓会  
に参加して人の話をよく聞き自分  
の引き出しを広げることが必要だ  
と改めて感じました。

同窓会参加に躊躇していても参  
加してみれば案外いろいろな自分  
の気づきに出会うものです。  
また皆さんと会えることを楽し  
みにしています。

会の運営に当たられた皆様、心  
より感謝申し上げます。

## 『当時の思い出と共に』

31回生 市川 江真  
昨年、仙台ガーデンパレスにて

第三十一年度同窓会総会、懇親会  
が行われました。お忙しい中参加  
して下さった先生方、同窓生の皆  
様に厚くお礼を申し上げます。お  
世話になった先生方や同期、1回  
生、11回生の先輩方と顔を合わせ  
る貴重な機会を通して、母校の歴  
史が積み重なっているのだと実感  
しました。母校である仙台西高校  
を卒業してから四年が経ちました。  
文武両道を目指して、部活動と共  
に勉強に打ち込んだ高校生時代を  
今でも鮮明に覚えています。

私事ではありますが、昨年は教  
育実習生として仙台西高校へわず  
か三週間ではありましたが、生徒  
としてではなく一人の教師の卵と  
して大変お世話になりました。仙  
台西高校での思い出を思い出すと  
同時に、生徒一人ひとりが持つ志  
や他者へ思いやる気持ち、夢へと  
突き進もうとするにも悩み、葛藤  
しながら問題を必死に解決しよう  
とする姿を見て、当時の自分自身  
の姿と重なる部分が見受けられま  
した。日々苦しみながらも挑戦し  
続けようとする姿勢は、今後も自  
分だけではなくなる姿勢は、今後  
必要不可欠なものだと感じました。

そういった当時の新鮮な気持ち  
を思い出すきっかけの一つとして  
同窓会総会・懇親会は同期や恩師  
先輩、後輩との再会の場として今  
後も引き継  
いでいくべ  
き会なのだ  
と実感しま  
した。

最後に、  
この会を運  
営するにあ  
たりご協力  
いただいた  
先生方、同  
窓生の皆様  
には本当に



**ナイス!コミュニケーション。**

人から人、人から社会、社会から人へと、お互いを理解し合うための手段として、コミュニケーションはたいへん重要なものです。創文は、印刷を通して、いかに人とかわり、いかに社会に貢献できるのかを考え、つねにナイス・コミュニケーションをめざします。

**創文**  
印刷出版株式会社  
〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号  
TEL. (022) 222-0181 代 FAX. (022) 266-4246

地域密着型の店作りを  
めざしています!

**守酒店**  
(もり)  
TEL: 245-1569  
(FAX: 245-0683)



感謝しております。今後もどうかこの繋がりを大切にしていきたいと思ひ、これを結びの言葉とさせていただきます。

母校

31回生の学年主任 齋藤つとむ
今年度の同窓会総会、懇親会は七月二十七日(土)、仙台ガーデンパレスを会場に開催されました。今年から当幹事学年を下一桁の数字の回生(今年は1回生、11回生、21回生、31回生)としての実施という事もあって、1回生から多数の参加を得、例年以上に盛大に会を開催することができました。さて、私が学年主任をさせていただいた31回生ですが12名の同窓生が参加し、司会に、パフォーメンスにと活躍してくれました。担任からは小野寺修一先生、鈴木達夫先生、中川史渡先生、そして学年所属だった市山直之先生が出席して下さい、ともに酒を酌み交わし、在学中の思い出話、現在の状況など、楽しいひとときを共有することができました。

1回生からは、当時の学校生活を中心とした思い出のスライドの上映があり、思い出に浸る人、西高の歴史を改めて知る人、各々が母校への思いを胸に刻み、会場全体が温かい雰囲気になりました。31回生は、多くの人は大学4年生で、卒業後の進路やその悩みなどのお話がありました。なかでも、



東京でシンガーソングライターとして活躍する広瀬咲楽(本名村上咲楽)さんからは歌の披露があり、さすがの美しい歌声に会場の皆が息を飲み、聞き惚れる瞬間でありました。

久しぶりに、31回生の皆さんと再会し、それぞれが自分の道を歩み、成長しているのだということ、とてもうれしかったことです。今年、1回生の皆さんが多数参加していただけたことで、社会人として様々なところで活躍されている先輩の姿を身近に感じることができ、31回生にも大きな刺激、勉強になったのではないかと思います。また31回生の近況報告を聞いた1回生からは、アドバイス、支援の申出などもあり、名刺をいただく姿も見受けられ、西高同窓会の温かいつながりを実感させられる総会でした。

社会に出たとき、自分を支えてくれるのは、やはり人と人のつながりです。同窓会は、世代を超えた人と人のつながりを実現してくれる場所です。母校で過ごした思い出を共有できる同窓会を大切にしたい、来年も多くの人が同窓会総会に参加していただければと思います。そして、同窓生の皆様が今後とも各分野でますます活躍されることをお祈りいたします。

「みんなの前で歌って」

大人になっての再会

高三の時、みんなが教室に残って受験勉強をしているのに混じって、私はギターで弾き語り。その光景は今思うと異様だったけれど、これが三、四の日常だった。

成人式には行かなかった。夢を叶えるために東京に出たも



の、なかなかに思い通りにはいかず空回り。かつての友人に会うのが

恥ずかしかった。二十一歳になり、中学生から続けていた女優の仕事を休止して、大好きな音楽活動に専念する決断をした。そこへふと、全然動かなかったクラスラインに同窓会の知らせが入ったのだった。「咲楽ちゃん、歌いたい？余興の枠空いてる」よく放課後に廊下でダンスの練習をしていた、クラスメイトの康平くんが声を掛けてくれた。またみんなの前で歌ってよ、と言ってくれたのが嬉しくて、喜んで返事をして新幹線で仙台へ向かった。

ホールにはお洒落をした女の子、スーツを着た男の子。でも、みんな見たことがある顔。ちよっぴり歳をとった学年の先生たち。はじめて会う西高の先輩方。卒業後は学校というコミュニティから離れて生活をしてきたから、こんな機会がないと、簡単に会えない友達もいたので嬉しかった。進路が特殊だった私のことを、三年間応援し支えてくれた担任の小野寺修一先生の前でも、また歌うことができた。先生はお酒が入ってほんのり赤い顔で、微笑みながら聴いてくれた。あれからまた連絡をとっている友達がいる。大人になってからの再会は、思っていたよりもずっといいものだった。

令和元年度 同窓会役員
参与 後藤 順一(校長)
副会長 守川 敬太(1回生)
幹事 宮崎 雅晴(2回生)
計 荒井 剛彦(6回生)
監 齋藤美代子(事務室長)
事 渡辺 辰也(3回生)
務 前田 健志(7回生)
務 扇谷 和幸(16回生)
局長 扇谷 健(2回生)
補佐 市山直之・齋藤つとむ(仙台西高総務部)



開校記念式典
令和元年十一月五日(火)本校34回目の開校記念日に実施し、今回は、三年に一回の開催に移行してから初の開催となりました。本校卒業生の著名な方々にご講演頂いておりますが、今回は東北卒業生で古川学園高等学校教諭・女子バレーボール部監督岡崎典生氏に、「在校生に期待すること」と題してお話し頂きました。同氏は高校女子バレー界において、県内はもとより全国でも毎年上位に進出し、常勝チームを作り上げておられます。また、教えるの中には日本を代表する選手を多数輩出されています。ご自身のバレーボールの指導をとおし、目標設定やその取り組み方、心身の自己研鑽の方法等と、生徒自身がこれからの学校生活の糧となるべき指針を熱く語られました。

令和元年度 部活動報告
(運動部)
陸上競技部
陸上競技大会
男子
1000m 大角虎白 準決勝進出
800m 室井一真 準決勝進出
400m 伊東龍人・菅原優斗 準決勝進出
3000m 伊藤洗太 決勝進出
走幅跳 渡邊 希 第5位
8種競技 古里祐樹 第5位
波部創太 第8位
400mR 菅原・大角・渡邊・栗野 準決勝進出
1600mR 大角・佐藤・伊東・室井 準決勝進出
【女子】
2000m 中村 桜 準決勝進出
4000m 中村 桜 第7位
800m 八巻かりん 準決勝進出
400mH 菊地梨那 準決勝進出
三段跳 千葉 陽 優勝
県高校新・大会新(東北大会出場)
棒高跳 相澤りお 第4位(東北大会出場)
1600mR 中川 中村・菊地・鳴原・中川 準決勝進出
東北高等学校陸上競技大会
男子三段跳 渡邊 希 第21位
女子三段跳 千葉 陽 第5位
女子棒高跳 相澤りお 第18位
三段跳 千葉 陽 優勝
宮城県陸上競技選手権大会
1600mR 菅原・佐藤・伊東・室井 第7位
少年B走幅跳 渡邊 希 第5位
少年B走幅跳 渡邊 希 第2位
少年B走幅跳 栗野晴斗 第4位
少年B1000mH 佐藤礼奈 第5位
宮城県新人陸上競技大会
【男子】
1000m 大角虎白 準決勝進出
2000m 大角虎白 準決勝進出
4100m 渡部創太 準決勝進出
4100mH 菅原優斗 第8位
走幅跳 渡邊 希 優勝
針を熱く語られました。
三段跳 渡邊 希 第4位(東北大会出場)

八種競技  
4000mR 渡部創太 第4位  
渡邊・大角・栗野・菅原 第7位

【女子】  
1000m 鳴原愛麗 準決勝進出  
2000m 鳴原愛麗 準決勝進出  
4000m 中村 桜 準決勝進出  
8000m 相澤百世 第8位  
10000m 相澤礼奈 準決勝進出  
10000mH 相澤礼奈 第2位

○東北新人陸上競技大会 (東北大会出場)  
走幅跳 渡邊 希 第7位  
三段跳 渡邊 希 第6位  
棒高跳 相澤礼奈 第2位  
少年共通 三段跳 千葉 陽 第27位

○宮城県高等学校駅伝競走大会  
男子 第15位  
(伊藤 洸太・川端 響・佐藤 優太郎・菅原 豪起・齋藤 俊弥・金原 篤士・樽野 友哉)  
◆男子バレーボール部  
○県新人大会  
1回戦 対気仙沼向陽・本吉響合同 2-1  
2回戦 対仙台第一 1-2 (15-25 25-12 10-25)

○仙塩地区新人大会  
1次リーグ 男子Dブロック  
対仙台第三 0-2 (14-25 14-25)  
対東北生活文化大学 0-2 (22-25 19-25)  
対仙台第二 0-2 (18-25 18-25)

○仙台市民総体  
予選リーグ 男子Aブロック  
対仙台城南 2-0 (26-24 25-19)  
対仙台商業 0-2 (4-25 13-25)  
決勝トーナメント  
対宮城工業 0-2 (21-25 19-25)  
○第72回全日本高校選手権大会  
宮城県1次予選  
Gグループ  
1回戦 対仙台高校 0-2 (24-26 18-25)

○第68回県高校総体  
1回戦 対小牛田農林 2-1 (25-13 23-25 25-15)  
2回戦 対石巻工業 1-2 (21-25 25-23 16-25)  
◆女子バレーボール部  
○県新人大会  
1回戦 対志津川 2-0 (25-5 25-6)  
2回戦 対仙台城南 2-0 (25-11 25-22)  
3回戦 対聖和 0-2 (15-20 13-25)  
○仙塩地区新人大会  
1次リーグ  
対聖ドミニコ学院 0-2  
対仙台商業 0-2  
対泉 2-1 (25-7 25-9)  
○仙台市民総体  
予選リーグ  
対仙台二高 2-0 (25-7 25-9)  
対生文大高 0-2 (9-25 17-25)  
決勝トーナメント  
対常盤木学園 1-2 (25-20 22-25 10-25)  
○第72回全日本高校選手権大会  
宮城県2次予選  
1回戦 対大崎中央 0-2 (12-25 8-25)  
○第19回栗原市高校選手権大会  
予選 1位通過 決勝戦へ  
対古川 2-1 (25-21 25-11)  
○第72回全日本高校選手権大会  
宮城県1次予選  
1回戦 対名取 2-0 (25-14 25-14)  
2回戦 対松島 2-1 (25-15 25-7)  
決定戦 対村田 2-1 (25-21 25-11)  
○第68回県高校総体  
1回戦 対気仙沼 2-0 (25-12 25-10)  
2回戦 対聖ウルスラ英智 0-2 (21-25 21-25)  
◆男子バスケットボール部  
○県総体仙塩地区予選会  
jブロック  
2位通過で代表決定トーナメント  
に出場

代表決定トーナメント  
2回戦 対学院榴ヶ岡 70-85 惜敗  
3回戦 対尚絨学院 71-77 惜敗  
最終代表決定戦 対泉館山 62-59 勝利

○県総体  
3回戦 対浦谷 100-142 勝利  
2回戦 対明成 191-126 敗退  
3回戦 対明成 3回戦進出 (ベスト16)

○県選手権大会  
1回戦 対浦谷 96-71 勝利  
2回戦 対泉 90-50 勝利  
3回戦 対仙台南 57-74 敗退  
○県新人仙塩地区予選会  
hブロック  
対仙台商業 95-75 勝利  
対仙台一 62-111 惜敗  
2回戦 対仙台南 68-49 惜敗  
対塩釜 108-70 惜敗

○県新人大会  
1回戦 対大崎中央 120-32 勝利  
2回戦 対古川学園 68-74 惜敗  
◆女子バスケットボール部  
○県総体仙塩地区予選会  
bブロック  
対白百合 53-76 惜敗  
対泉館山 30-117 敗戦  
○県選手権大会  
1回戦 対富谷 49-75 敗退  
2回戦 対富谷 49-75 敗退

○仙台市民総体高校の部  
1回戦 対宮城第一 40-107 敗退  
◆男子ソフトテニス部  
○第65回県高校春季大会  
及川・亀崎組  
1回戦 対④① (泉館山)  
2回戦 対④① (石巻北)  
3回戦 対④① (石巻北)  
萩野・近藤組  
1回戦 対④① (石巻好文館)  
2回戦 対④① (仙台育英)  
横山・針生組  
1回戦 対④② (大河原商)  
2回戦 対④① (小牛田農)  
3回戦 対④① (登米総合)  
高橋・上野組  
1回戦 対③④ (仙台二)

○第68回県高校総体  
団体戦  
1回戦 対②① 学院榴ヶ岡  
2回戦 対②① 仙台城南  
3回戦 対①② 仙台一  
個人戦  
高橋・大内組  
1回戦 対④② (佐沼)  
2回戦 対④② (仙台二)  
亀崎・及川組  
1回戦 対④① (仙台城南)  
2回戦 対④① (佐沼)  
萩野・近藤組  
1回戦 対④① (白石工)  
横山・針生組  
1回戦 対①④ (白石)  
○第23回県高校夏季大会  
大内・上野組  
1回戦 対④① (仙台高専名取)  
2回戦 対④① (白石)  
高橋・鈴木組  
1回戦 対④① (柴田農)  
2回戦 対④① (東北)  
亀崎・吉田組  
1回戦 対④① (宮城広瀬)  
2回戦 対④① (石巻西)  
三浦・佐藤組  
1回戦 対②④ (石巻商)  
○県高校新人大会  
団体戦  
1回戦 対②① 泉館山  
2回戦 対②① 古川黎明  
3回戦 対②① 学院榴ヶ岡  
4回戦 対②① 仙台育英  
5回戦 対①② 仙台三 第三位  
個人戦  
大内・上野組  
1回戦 対④① (佐沼)  
2回戦 対④① (大河原商)  
亀崎・吉田組  
1回戦 対④① (小牛田農)  
2回戦 対④① (気仙沼)  
3回戦 対④② (浦谷)  
4回戦 対④② (東北)

○県高校インディア大会個人戦男子予選リーグ  
1回戦 対④① (ウラスラ)  
2回戦 対④① (倉島・島村組)  
3回戦 対④① (倉島・島村組)  
1回戦 対宮城一 0-4 敗

○第68回県高校総体  
団体戦  
1回戦 対②① 学院榴ヶ岡  
2回戦 対②① 仙台城南  
3回戦 対①② 仙台一  
個人戦  
高橋・大内組  
1回戦 対④② (佐沼)  
2回戦 対④② (仙台二)  
亀崎・及川組  
1回戦 対④① (仙台城南)  
2回戦 対④① (佐沼)  
萩野・近藤組  
1回戦 対④① (白石工)  
横山・針生組  
1回戦 対①④ (白石)  
○第23回県高校夏季大会  
大内・上野組  
1回戦 対④① (仙台高専名取)  
2回戦 対④① (白石)  
高橋・鈴木組  
1回戦 対④① (柴田農)  
2回戦 対④① (東北)  
亀崎・吉田組  
1回戦 対④① (宮城広瀬)  
2回戦 対④① (石巻西)  
三浦・佐藤組  
1回戦 対②④ (石巻商)  
○県高校新人大会  
団体戦  
1回戦 対②① 泉館山  
2回戦 対②① 古川黎明  
3回戦 対②① 学院榴ヶ岡  
4回戦 対②① 仙台育英  
5回戦 対①② 仙台三 第三位  
個人戦  
大内・上野組  
1回戦 対④① (佐沼)  
2回戦 対④① (大河原商)  
亀崎・吉田組  
1回戦 対④① (小牛田農)  
2回戦 対④① (気仙沼)  
3回戦 対④② (浦谷)  
4回戦 対④② (東北)

○県高校インディア大会個人戦男子予選リーグ  
1回戦 対④① (ウラスラ)  
2回戦 対④① (倉島・島村組)  
3回戦 対④① (倉島・島村組)  
1回戦 対宮城一 0-4 敗



仙台発祥の店 炭焼はらみ専門店  
福光 FUKKOU  
国分町本店 仙台市青葉区一番町4-10-2 彩華第二ビル1F  
TEL 022-224-7088  
仙台駅東口本店 仙台市宮城野区榴岡2-3-22 白福ビル2F  
TEL 022-792-1360

☆応援します西高躍進!!  
~~住まいを守る~~  
屋根・雨どい 相談 /見積 無料  
は専門業者へ  
(有)渡辺板金工業  
建築板金技能士 渡辺 健志  
TEL 244-1656 [H4卒]

2回戦 対②① 仙台育英  
1回戦 対①② 東北学院  
2回戦 対③③ 聖ウルスラ  
3回戦 対③③ 東北  
◆女子ソフトテニス部  
○県総体  
団体戦  
1回戦 対塩釜 0-3 敗  
個人戦  
近藤・佐藤組  
1回戦 対石巻西 4-2 勝  
2回戦 対常盤木 0-4 敗  
倉島・島村組  
1回戦 対宮城一 0-4 敗



○県新人大会  
団体戦 対聖和2-0 勝  
1回戦 対東北0-2 敗  
個人戦 倉島・高橋組 勝  
1回戦 対気仙沼4-1 勝  
2回戦 対仙台3-0 4 敗  
柳村・宗像組  
1回戦 対角田4-2 勝  
2回戦 対泉館山1-4 敗  
三浦・島村組  
1回戦 対白石4-1 勝  
2回戦 対築館3-4 敗  
菅野・渡邊組  
1回戦 対生文大高4-2 勝  
2回戦 対常盤木0-4 敗  
○県総体  
◆サッカー部  
1回戦 5月25日  
対名取北3-1 2回戦進出  
2回戦 5月26日 対仙台三0-2 県ベスト16  
○選手権決勝トーナメント  
1回戦 10月19日 対古川学園3-0 2回戦進出  
2回戦 10月20日 対仙台三2-4 (延長0-2) 県ベスト16  
○県新人  
1回戦 11月15日 対石巻1-0 2回戦進出  
2回戦 11月16日 対聖和学園0-5 県ベスト16  
◆卓球部(男子)  
○高校総体 仙塩地区予選  
団体戦 予選敗退  
1回戦 対泉松陵 1-3  
1次敗者復活戦 対仙台三三1-3 予選敗退  
○新人大会 仙塩地区予選  
団体戦 予選敗退  
1回戦 対東北0-3  
1次敗者復活戦 対多賀城1-3  
個人戦 由利太知(1年) 県大会出場  
○宮城高校新人大会  
男子個人S  
2回戦 由利太知3-1 氣多(名取北)

3回戦 由利太知0-3 佐藤海(利府)  
○全国高等学校選抜大会(個人の部)  
宮城県予選会  
2回戦 由利太知2-3 釘持(白石工)  
個人S  
○第68回県総体  
◆男子バドミントン部  
1回戦 対村田高3-0 勝利  
2回戦 対角田高2-3 惜敗  
○県ジュニア選手権大会  
個人戦  
ダブルス  
結城・菅原組  
○県高校新人大会  
学校対抗戦  
2回戦 対明成3-0 勝利  
3回戦 対生文大高0-3 敗退  
個人戦  
ダブルス 結城・菅原組 ベスト32  
◆女子バドミントン部  
○県選手権大会  
ダブルス(317組出場) 6回戦敗退  
加藤・小林組 (ベスト16)  
志賀・中澤組、藤浦・早坂組  
3回戦敗退  
円館・松本(栄)組、渡邊・松本(栄)組  
赤井澤・木村組、小山・大浪組  
小島・中條組、大友・高橋組、浅野・山口組  
シングルス(6577人出場)  
小林 4回戦敗退  
渡邊、松本(栄)、加藤 3回戦敗退  
志賀、藤浦、小島、中澤、中條、浅野、円館、木村、松本(栄)、早坂、大友 2回戦敗退  
高橋、山口、赤井澤、大浪、庄子、小山 1回戦敗退  
○県総体個人戦  
ダブルス(223組出場)  
加藤・小林組、志賀・中澤組、渡邊・松本(栄)組 3回戦敗退  
藤浦・早坂組 (ベスト64)  
シングルス(2477人出場)  
加藤 2回戦敗退  
志賀、小林、中澤 1回戦敗退  
1回戦 対塩釜高1-3 敗退

○県ジュニアバド選手権大会  
ダブルス(281組出場) 4回戦敗退  
中澤・赤井澤組 (ベスト64)  
木村・佐藤知佳組、小島・秋山組 3回戦敗退  
井上・山口組、中條・梅津組、佐藤知美・名嘉組、安齋・浅野組、大友・高橋組、庄子・大宮組 2回戦敗退  
奥山・佐藤(祐)組 1回戦敗退  
シングルス(589人出場)  
木村、赤井澤、秋山 4回戦敗退  
小島、中澤、大友、中條 3回戦敗退  
奥山、佐藤知佳、井上、大宮、梅津、高橋、浅野、名嘉、佐藤知美、山口、安齋、佐藤(祐) 2回戦敗退  
庄子 1回戦敗退  
○県新人大会個人戦  
ダブルス 中澤・赤井澤組 3回戦敗退  
シングルス 中澤 3回戦敗退  
○県新人大会団体戦  
1回戦 対明成高3-0 勝利  
2回戦 対仙台一高2-3 敗退  
○仙台市民総体  
女子3部 加藤・円館組 優勝  
女子4部 小林・木村組 第3位  
男子ハンドボール部  
○県総体  
1回戦 対東北学院21-12 敗退  
2回戦 対富谷27-18 敗退  
○国体県第1予選会  
1回戦 対泉松陵20-19 敗退  
2回戦 対聖和学園16-31 敗退  
○県新人大会  
1回戦 対宮城広瀬28-10 敗退  
2回戦 対仙台南13-21 敗退  
○県ジュニア強化大会  
決勝トーナメント 1位通過  
対仙台一高16-12 優勝  
◆女子ハンドボール部  
1回戦 対聖和学園6-34 敗退

○第75回国体県第一次予選会  
1回戦 対塩釜27-6  
2回戦 対富谷19-8  
準決勝 対古川商業12-16  
決勝 対仙台市民総体 優勝  
予選リーグ  
対仙台二華25-8  
対宮城第一28-10  
決勝トーナメント  
準決勝 対泉館山17-6 優勝  
決勝 対仙台商業20-9  
○県新人大会  
1回戦 対佐沼19-2  
2回戦 対泉館山17-10 敗退  
準決勝 対仙台商業15-23 第3位  
○第43回選抜大会宮城県二次予選会  
対聖和学園17-30  
対仙台商業11-23  
対古川学園16-13  
1勝2敗 第3位  
◆女子ソフトボール部  
○県選抜大会  
対聖和学園17-1 (4回コールド負け)  
○県総体  
1回戦 対柴田7-6 勝利  
2回戦 対泉館山8-6 勝利  
3回戦 対聖和学園0-8 敗退  
ベスト8  
○選手権  
1回戦 対黒川10-2 (5回コールド勝ち)  
2回戦 対仙台台東8-10  
1回戦 対桜坂 不戦勝 (4回コールド負け)  
○県新人戦  
1回戦 対仙台台東8-10  
2回戦 対桜坂 不戦勝 (4回コールド負け)  
◆硬式野球部  
○春季地区予選  
1回戦 0-8 宮城農業  
敗者復活  
1回戦 0-7 角田  
2回戦 11-7 亍理・大河原商業  
代表決定戦 0-3 柴田  
第7代表決定戦 0-3 宮城農業  
○第101回全国高等学校野球選手権大会宮城大会  
1回戦 2-1 石巻  
2回戦 0-4 東北生活文化大学  
3回戦 0-5 東北生活文化大学  
○秋季地区予選  
1回戦 0-8 白石工業  
2回戦 0-3 白石工業

敗者復活2回戦 ●1-7 仙台城南  
◆剣道部  
男子団体戦  
予選リーグ  
対涌谷2-2 分  
対名取北0-5 負  
1敗1分 予選敗退  
女子団体戦  
予選リーグ  
対仙台一0-4 負  
対ウル斯拉1-4 負  
男子個人戦 湯村一真 2敗 予選敗退  
女子個人戦 渡邊 優 1回戦敗退  
伊藤虹海 3回戦敗退  
○新人  
男子個人戦 池野 悠 1回戦敗退  
女子個人戦 高橋春乃 1回戦敗退  
真籠春乃 1回戦敗退  
◆柔道部  
○第127回仙塩地区大会  
73kg級 藤嶋妙晟 3位

つるまき園芸

庭木のお手入れ承ります

電話 022-384-7385

鈴木辰也 (三回生)

〒981-1201

名取市下増田字丁地前15-5

○県総体  
男子個人  
66kg級 藤嶋妙晟 ベスト16  
○第69回新人大会  
男子個人  
66kg級 森谷碧月 一回戦敗退

〈文化部〉

◆吹奏楽部  
○全日本吹奏楽コンクール第62回宮城県大会予選仙台太白・仙台宮城野岩林地区大会  
高等学校の部 銀賞 審査員特別賞  
○第53回アンサンブルコンテスト宮城県大会予選仙台太白地区大会  
打楽器三重奏 銅賞  
フルート三重奏 銅賞  
クラリネット八重奏 銀賞  
金管八重奏 銀賞  
○第28回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト南東北大会  
二年 高階 遊依(打楽器) 銀賞  
二年 野地 春花(ホルン) 銀賞  
二年 津國 温子(トランペット) 銀賞

◆合唱部

○第86回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール  
ル宮城県コンクール 銀賞  
○第71回全日本合唱コンクール宮城県大会 金賞 宮城県知事賞  
○第71回全日本合唱コンクール東北支部大会 銅賞  
○第31回宮城県合唱アンサンブルコンテスト 金賞  
○第7回復興の詩独唱コンテスト 銀賞(1年3組12番 丹代康太)

◆美術部

○第70回仙台市内高等学校美術展 優秀賞 2年3組 穴戸 花穂  
「第72回宮城県高等学校美術展」 優秀賞 2年3組 穴戸 花穂  
◆囲碁将棋部  
○第32回全国高等学校将棋竜王戦宮城県予選大会  
A級 寛野文也(2-7) 決勝トナメント進出(42人中9位)  
B級 鈴木椋兵(3-6) 63人中4位  
C級 江川裕希(2-7) 66人中6位  
D級 入賞(8位以内入賞)

○第36回宮城県高等学校将棋新人戦 ナメント進出(29人中9位)  
A級 寛野文也(2-7) 決勝トナメント進出(29人中9位)

平成30年度宮城県仙台西高等学校同窓会会計決算報告書

収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
繰越金	277,186	277,186		
人会金	1,242,000	1,237,400	△4,600	人会金4,600円中途転出者1名
会費	100,000	27,000	△73,000	1口1,000円
繰入金	0	0		
雑収入	12,814	29,009	16,195	広告収入等
合計	1,632,000	1,570,595	△61,405	

平成30年度宮城県仙台西高等学校同窓会積立会計決算報告書

収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
繰越金	1,281,066	1,281,066	0	前年度繰越金
積立金	700,000	700,000	0	普通会計からの繰り入れ
雑収入	934	127	△807	利息
合計	1,982,000	1,981,193	△807	

支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
一般会計	0	0		
事業費	0	0	0	
合計	0	0	0	

収入 1,889,775円-支出額 608,709円=執行残額 1,281,066円

監査報告

宮城県仙台西高等学校同窓会会則第17条に基づき、会計監査をした結果通帳及び関係書類とも適正に処理されていることを報告します。

令和1年6月25日

監事 渡辺 健志  
監事

支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
総務費	325,000	202,363	△122,637	
会議費	100,000	48,095	△51,905	総会・懇親会
需要費	55,000	41,828	△13,172	事務局用消耗品等
通信費	120,000	105,197	△14,803	総会案内郵送料
慶弔費	30,000	0	△30,000	
諸費	20,000	7,243	△12,757	総会出欠連絡はき郵便送料等
事業費	1,190,000	1,075,933	△114,067	
印刷費	200,000	184,433	△15,567	総会案内・会報印刷
記念品費	160,000	148,500	△11,500	卒業記念品
積立金	700,000	700,000	0	積立金会計へ繰り出し
助成金	130,000	43,000	△87,000	全国大会等出場費賞
予備費	117,000	0	△117,000	
合計	1,632,000	1,278,296	△353,704	

収入 1,570,595円-支出額 1,278,296円=執行残額 292,299円

同窓生への後援依頼

現役後輩の活動が盛んになるにつれて、活動資金や備品等が必要になってきます。左記会則にもありますとおり、会員各位に御協力をお願い致します。

宮城県仙台西高等学校 部活動後援会会則(抜粋)

第一条(名称)

本会は、宮城県仙台西高等学校部活動後援会(略称、仙台西高部活動後援会)と称し、事務局を同校におく。

第二条(目的)

本会は、仙台西高運動部、文化部の活動を後援し、さらに発展充実させることを目的とする。

第三条(会員)

本会は、宮城県仙台西高等学校父母教師会会員、教育振興会会員、同窓会会員、並びに本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

第四条(会費)

本会の会費は、年会費として、一口一、〇〇〇円(三口以上何口でも可)毎年五月末を期限として納入する。

第五条(事業)

本会の目的を達成するための次の事業を行う。  
一、部活動のための施設、設備及び用具充実の補助  
二、部活動指導奨励費の補助  
三、生徒遠征費の補助  
四、その他部活動振興のための補助

第十条(総会)

総会は毎年一回原則七月の最終土曜日に開き、諸般の協議並びに報告を行う。緊急の必要がある場合には、役員会の議決を経て臨時総会を開くことができる。

郵便振込で下記宛お願いします。

口座番号  
0228009124636  
加入者名  
仙台西高部活動後援会  
1口千円で、3口(三千円)以上

庄子治療院

院長 庄子甚一(3回生)

仙台市太白区泉崎1-32-20-202

TEL 022-743-2327